

2025年3月に開店したビオラルうめきた店(大阪府大阪市)



第 71 期

中間報告書

2025年3月1日～2025年8月31日



株式会社 ライフコーポレーション

「第七次中期経営計画」の取り組みを加速させ、 「お客様からも社会からも従業員からも 信頼される日本一のスーパーマーケット」 を目指します。



代表取締役社長執行役員
岩崎高治

当期間の状況

株主の皆様には、平素より格別のご支援並びにご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、ここに当社第71期中間連結会計期間の概況につきましてご報告申しあげます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、穏やかな回復基調となりました。一方で、米国の関税引き上げなど主要国における通商政策の影響をはじめとした世界経済の不確実性や地政学的リスクの高まり等により、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの事業領域である食品スーパー業界におきましては、所得環境の改善や食品価格の上昇等による収益の押し上げ効果が一部に見られるものの、継続する物価高による消費への影響、業種・業態の垣根を越えた競争の激化、人手不足の継続、それに伴う人件費や各種コストの上昇等、企業運営を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

「第七次中期経営計画」の取り組み状況

こうした経営環境のもと、当社グループは、お客様の

声やアンケート、購買データなどを基にお客様のニーズに対応したお店づくりや商品開発、サービスの充実に努めております。また、2023年度より開始した「第七次中期経営計画」では「人への投資」「同質化競争からの脱却」「持続可能で豊かな社会の実現への貢献」を主要テーマとしており、3年目となる今期においても、急速に変化する外部環境に対応しつつ全社を挙げて取り組んでおります。

また、人口減少に伴う人手不足やモノ・サービス等の価格上昇によって各種コストが増加する事業環境下においても、2030年度に目指す姿の実現に向けて、3つの主要テーマを含めた経営戦略を推進していくために、生産性の向上と物件費の最適化を軸とした「カイゼン」活動に取り組んでおります。

第七次中期経営計画に基づく経営戦略推進の具体的な取り組みとしては、2024年3月に新設したBIO-RAL店舗運営部について、2025年3月に「首都圏BIO-RAL店舗運営部」と「近畿圏BIO-RAL店舗運営部」に分割することで意思決定を迅速化し、オーガニック、ローカル、ヘルシー、サステナブルのコンセプトに沿った「BIO-RAL（ビオラル）」事業の運営体制を強化するとともに、「BIO-RAL」店舗を3店舗新設するなど、同質化競争からの脱却を着実に推進しております。

また、多様化するお客様のニーズを商品・サービスに結びつけるための仕組みづくりを一層進め、「ライフらし

さ」の発信を通じて商圈シェアの拡大に繋げるため、3月にマーケティング推進室を新設いたしました。

更に、市場拡大の続くネットスーパー事業の拡充を図るため、大型センター・設備を取得し、2027年秋に新規センター出荷型ネットスーパー事業の運営を開始する予定です。店舗型ネットスーパー事業で事業規模拡大の制約要因となっていた拠点スペース不足や人員不足を解消し、出店できていないエリアへの展開を可能にすることで新たな顧客の獲得、既存のネットスーパーとは異なる品揃えやサービスを構築し新規ニーズの取り込みを目指しております。

加えて、持続可能で豊かな社会の実現への貢献の取り組みとして、首都圏では東京都中野区、目黒区、江戸川区、江東区、府中市、近畿圏では西宮市の店舗で、子ども食堂やフードパントリーなどへの商品寄贈を開始したほか、食・環境に関する小学生向けの「出前授業」を継続的に実施しております。

新規店舗としては、3月にminanoba相模原店（神奈川県）、ビオラルうめきた店（大阪府）、ビオラル新宿京王百貨店（東京都）、ビオラルさんちか店（兵庫県）を出店し、2店舗を閉店いたしました。既存店舗では、寝屋川店（大阪府）、大谷田店（東京都）、前野町店（東京都）において、冷凍食品コーナー拡大や手作りパン・惣菜・ペット用品等を拡充するなど、地域ニーズを意識した改装を行いました。

当社グループの業績と今後

当社グループの業績におきましては、新規出店、ネットスーパーの拡大、「BIO-RAL」等のプライベートブランド商品の強化、鮮度・おいしさを追求した商品施策等を実施した結果、営業収益は4,401億14百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

一方、販管費は、新規出店に伴う賃借料等、非現金決済に関する手数料及びシステム関連費用といった各種物件費の増加に加え、人への投資・処遇改善等に伴い人

件費も増加しましたが、カイゼン活動による生産性の向上、物件費最適化の取り組みを推進した結果、営業利益は133億3百万円（前年同期比8.8%増）、経常利益は138億58百万円（前年同期比9.1%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は93億27百万円（前年同期比4.6%増）となりました。なお、ネットスーパー事業の出荷大型センター取得等に伴う特別損失12億37百万円、政策保有株式の売却等に伴う特別利益7億86百万円を計上しております。

部門別売上高は、生鮮食品部門が1,846億66百万円（前年同期比4.5%増）、一般食品部門1,934億17百万円（前年同期比5.5%増）、生活関連用品部門344億40百万円（前年同期比0.6%減）、衣料品部門112億80百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

また、株式会社ライフフィナンシャルサービスの営業収益は14億63百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益は2億21百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

小売業界におきましては、金融資産の増加、賃金の上昇等が消費の下支えになるものの、物価高、人手不足の深刻化等による人件費の高騰に加え、ドラッグ業態の食品拡大、ディスカウント業態の勢力拡大、ネット通販大手を含む業態を超えた生鮮食品分野への進出、M&Aの拡大等業界内の動きは激しくなっております。

このような厳しい環境の中、よりお客様に信頼される地域一番店を実現するために、さらなる飛躍に向け、2030年度に当社が目指す姿を見据えて、経営理念・ビジョン・ライフらしさ宣言の実現を図るべく2023年度よりスタートした「第七次中期経営計画」を推進しております。なお、2030年度に当社が目指す姿の実現については、環境の変化に合わせ迅速に効果的な施策を講じてまいります。

今後とも株主の皆様には変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう謹んでお願い申しあげます。

新規出店 NEW!

4店舗を新規出店

上期は3月にminanoba相模原店、ビオラルうめきた店、ビオラル新宿京王百貨店、ビオラルさんちか店を新規出店いたしました。

1 ビオラルうめきた店 大阪府大阪市(2025年3月 開店)

「JR大阪駅(うめきた改札口)」直結の商業施設「グランピア大阪ショッピングセンター」地下1階に、ナチュラルスーパー「ビオラルうめきた店」をオープンいたしました。近畿圏では初となる「ビオラルカフェ」を併設した店舗で、物販エリアで販売しているプライベートブランド「BIO-RAL」の商品や、有機原料を使用したお食事をお楽しみいただけます。

関西広域から多数の人々が訪れる大阪の中心地で、「オーガニック・ローカル・ヘルシー・サステナブル」のコンセプトに沿って、食品添加物や健康、素材に配慮した約3,600種類の商品を取りそろえ、お客様の心と体の健康と豊かな日々をお手伝いするとともに、持続可能で豊かな社会の実現に貢献いたします。



2 ビオラル新宿京王百貨店 東京都新宿区(2025年3月 開店)

1日の平均乗降者数が世界最多の300万人である「新宿駅」の西口、京王百貨店内に出店いたしました。通勤・通学・レジャーで利用される方や近隣にお住まいの方など、駅を利用される幅広い層のお客様が立ち寄りやすい場所で、有機農産物から食品添加物に配慮した惣菜、体に優しい食品・日用品まで、コンパクトながら2,000種類以上の商品を幅広く品ぞろえ、お客様をお迎えいたします。

なお、通常はビオラル店内に専用レジをご用意しておりますが、当店は地下1階の共同レジにて他店舗の商品と一緒に当店の商品をご購入いただくことができます。



3 ビオラルさんちか店 兵庫県神戸市(2025年3月 開店)

商業施設やオフィスビルが立ち並び、観光スポットとしても人気の「三宮」エリアに、神戸市内初となるビオラル店舗を出店いたしました。

近畿圏では初となる対面のお惣菜コーナーを導入した店舗で、原料の一部に物販エリアで販売しているプライベートブランド「BIO-RAL」の商品や、有機原料を使用した商品をご提供いたします。当店でしか販売していない“限定商品”もご用意いたしました。

神戸周辺エリアを生活圏内とするお客様の健やかな身体・豊かなくらしづくりをサポートし、神戸地区の旗艦店として「BIO-RALの世界観」を発信いたします。



既存店舗の改装 RENEWAL!

大型改装を3店舗実施

上期は4月に寝屋川店、6月に大谷田店、前野町店を改装し、店舗の活性化を図りました。

1 寝屋川店 大阪府寝屋川市(2025年4月 改装)

当店は、幹線道路に囲まれた複合施設内店舗で、お車でご来店されるお客様が多い店舗です。週末はファミリー層を中心に、まとめ買いをされるお客様が多いことが特徴です。

今回の改装では、これまでお客様にご支持をいただいたお惣菜コーナー・手作りパンコーナー「小麦の郷」に、新商品を発売いたしました。また、お客様のまとめ買いニーズにお応えし、冷凍食品コーナーを2.5倍に拡大するほか、水産・畜産コーナーでもそれぞれの素材のおいしさを活かした冷凍商品を充実させました。



当社初の個人投資家向けオンライン会社説明会*を開催いたしました

当社は、投資家層の拡大を目的として、2025年7月16日に初めて個人投資家の方に向けたオンライン会社説明会を開催いたしました。

オンライン会社説明会では、当社のあゆみや業績、経営戦略などを網羅的に解説いたしました。また、オンラインチャットを使用した質問も受け付け、個人投資家の皆様と双方向の対話を行いました。

紹介ページ

http://www.lifecorp.jp/company/ir/individual_investor/index.html

*過去SBI証券HP(オンライン会社説明会)上に掲載した当社主催のオンライン会社説明会であり、同社並びに当社が有価証券の売買その他取引等を誘引する、または投資勧誘、個別銘柄の推奨等を目的とするものではありません。



自己株式を消却いたしました

2025年5月22日の取締役会決議に基づき、2025年5月30日に自己株式を消却いたしました。

消却した株式の種類	当社普通株式
消却した株式の数	8,400,000株(消却前の発行済株式総数に対する割合 8.49%)
消却日	2025年5月30日
消却後の発行済株式数	90,501,600株
消却後の自己株式数(2025年8月31日時点)	3,822,818株

プライバシーマークを取得いたしました



当社は、個人情報管理の第三者認証規格である「プライバシーマーク」の認証を2025年7月23日に取得しました。プライバシーマークは、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者などを評価して、その旨を示すプライバシーマークを付与し、事業活動に関してプライバシーマークの使用を認める制度です。

このたびの認証取得を機に、今後もより一層の注意をもって、当社が保有するお客様又は従業員の個人情報について、適切に管理するとともに継続的な保護管理体制の改善に努めてまいります。

当社初の株主優待を実施いたしました

2025年2月期の当社株主名簿に記載され、100株以上の当社株式を1年以上継続保有されていた株主様を対象に、当社初となる株主優待を実施いたしました。

本年株主優待の内容は以下の通りです。

●Aコース「ライフ商品券」



●Bコース「ライフプライベートブランド商品詰合せセット」



2,000円相当

3,000円相当



5,000円相当

1,000円相当(長期保有優遇)

寄付のご報告

寄付にご賛同いただきました株主の皆様に厚く御礼申し上げます。
以下の通り寄付いたしましたので、ご報告申し上げます。

寄付金総額: 272,000円

寄付日: 2025年8月29日

●Cコース「社会貢献活動団体へ寄付」



公益財団法人スペシャルオリンピックス日本



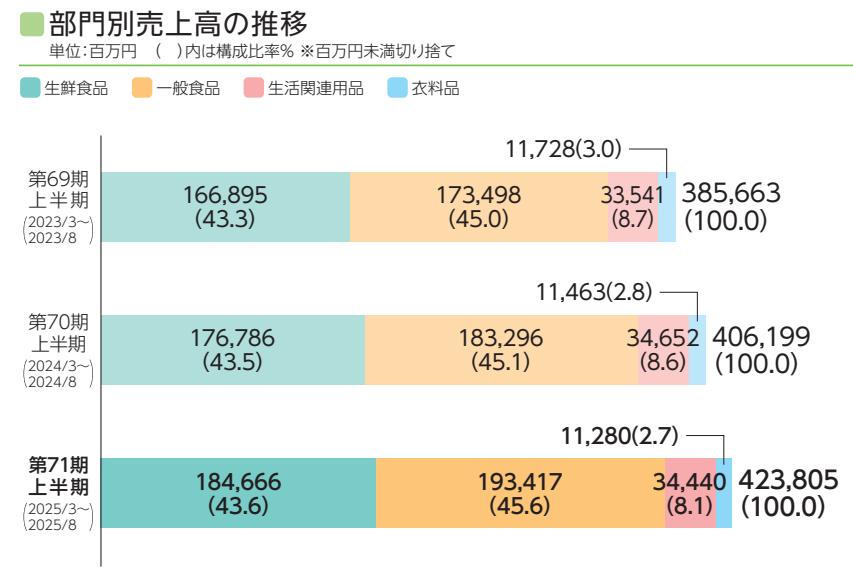
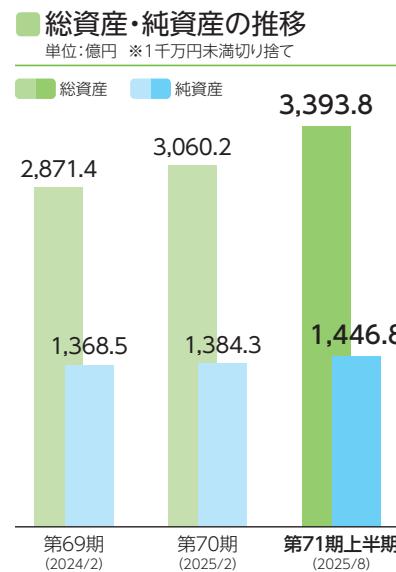
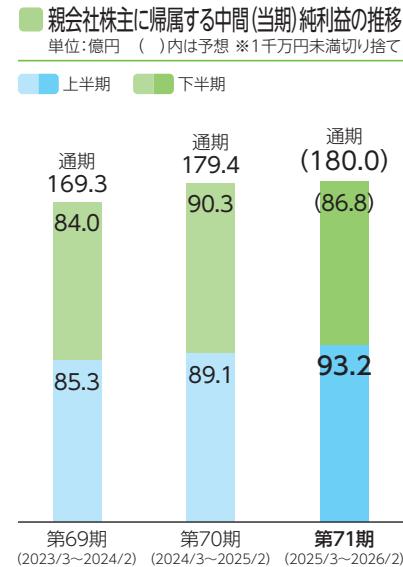
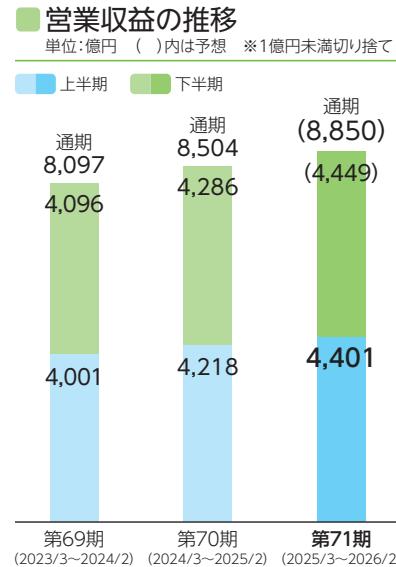
認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ



日本赤十字社

・紹介ページ
http://www.lifecorp.jp/company/ir/shareholder_benefit/index.html

連結決算の概要



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表 単位:百万円

	当中期 連結会計期間末 2025年8月31日現在	前連結会計年度末 2025年2月28日現在
資産の部		
流動資産	128,495	96,348
固定資産	210,886	209,678
有形固定資産	159,351	161,351
無形固定資産	5,228	5,851
投資その他の資産	46,306	42,476
資産合計	339,381	306,027
負債の部		
流動負債	153,797	129,927
固定負債	40,903	37,665
負債合計	194,700	167,592
純資産の部		
株主資本	142,584	135,857
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	2,501	5,696
利益剰余金	135,096	135,807
自己株式	△ 5,017	△ 15,651
その他の包括利益累計額	2,097	2,578
その他有価証券評価差額金	881	1,190
土地再評価差額金	△ 1,182	△ 1,154
退職給付に係る調整累計額	2,398	2,541
純資産合計	144,681	138,435
負債純資産合計	339,381	306,027

■ 連結損益計算書 単位:百万円

	当中期 連結会計期間 2025年3月1日から 2025年8月31日まで	前中期 連結会計期間 2024年3月1日から 2024年8月31日まで
売上高	423,805	406,199
売上原価	291,991	281,610
売上総利益	131,814	124,588
営業収入	16,308	15,686
営業総利益	148,122	140,275
販売費及び一般管理費	134,819	128,043
営業利益	13,303	12,232
営業外収益	795	608
営業外費用	239	134
経常利益	13,858	12,706
特別利益	786	50
特別損失	1,237	24
税金等調整前中間純利益	13,407	12,731
法人税、住民税及び事業税	7,927	3,647
法人税等調整額	△ 3,847	170
法人税等合計	4,080	3,817
中間純利益	9,327	8,914
親会社株主に帰属する中間純利益	9,327	8,914
連結キャッシュ・フロー計算書 単位:百万円		
	当中期 連結会計期間 2025年3月1日から 2025年8月31日まで	前中期 連結会計期間 2024年3月1日から 2024年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	70,402	56,447
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,929	△ 10,347
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 36,681	△ 25,733
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	27,792	20,366
現金及び現金同等物の期首残高	8,366	8,206
現金及び現金同等物の中間期末残高	36,158	28,573

(注)連結財務諸表の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

近畿圏

大阪府 | 127店舗

豊中店	福泉店	庄内店	三津屋店	堺駅前店	中崎町駅前店	板橋店	船堀店	大崎百反通店	ココネリ練馬駅前店	ビオラル丸井吉祥寺店
塚本店	門真店	ビオラル堺店	セントラルスクエア	玉造店	朝潮橋駅前店	仲宿店	前野町店	大森中店	ポンテボルタ千住店	東日暮里店
岡町店	横堤店	喜連瓜破店	なんば店	セントラルスクエア	ビオラルエキマルシェ	笹塚店	北赤羽店	扇大橋駅前店	東五反田店	本郷三丁目駅前店
桃山台店	江口店	吹田泉町店	下寺店	北畠店	大阪店	南台店	東尾久店	江北駅前店	錦糸町駅前店	ビオラル下北沢駅前店
北野田店	守口寺方店	新深江店	出屋敷店	清水谷店	セブンパーク	竹の塚店	渋谷東店	大谷田店	新御徒町店	セントラルスクエア
高石店	深江橋店	服部店	石津店	セントラルスクエア	天美店	中目黒店	中野駅前店	奥戸店	品川御殿山店	恵比寿ガーデンプレイス店
豊里店	十三東店	野田店	西天下茶屋店	森ノ宮店	枚方T-SITE店	瑞江店	浅草店	神田和泉町店	セントラルスクエア	カメイドクロック店
城山台店	四天王寺店	志紀店	岸部店	高殿店	守口満井店	篠崎店	武蔵小山店	南千住店	押上駅前店	ビオラル新宿マルイ店
恵我之荘店	長居店	此花伝法店	加賀屋店	羽曳野西浦店	花園中央公園店	鹿骨店	千川駅前店	奥戸街道店	京急蒲田駅前店	西荻窪店
国分店	玉串店	寝屋川店	久宝寺駅前店	東淡路店	初芝店	西大泉店	石神井公園店	大崎ニューシティ店	西小岩店	豊洲店
出来島店	住吉店	牧野店	土佐堀店	阿波座駅前店	セントラルスクエア	府中中河原店	東向島店	葛飾白鳥店	東砂店	市谷葉王寺店
澁谷店	都島高倉店	高槻城西店	大淀中店	堺筋本町店	ららぽーと門真店	深川猿江店	東中野店	東中野店	鶴の木店	ビオラルパルコヤ上野店
御崎店	生野寺店	豊津店	弁天町店	旭大宮店	桜ノ宮店	平和台店	アクトピア北赤羽店	落合南長崎駅前店	キテラタウン調布店	梅島駅前店
巽店	八尾竹済店	西大橋店	あびこ店	堂島大橋店	ビオラルみのわ	土支田店	千歳烏山店	練馬中村北店	氷川台店	ビオラル有明ガーデン店
平野西脇店	菱江店	香里園店	西田辺店	寺田町駅前店	キューズモール店	葛飾鎌倉店	石神井台店	目黒大橋店	東馬込店	勝どきミッド店
今里店	南津守店	新石切店	塩草店	八戸ノ里店	東天満店	中野新井店	水元店	上池台店	東府中店	下目黒店
杭全店	崇禪寺店	なかもず店	太融寺店	鶴見今津北店	枚方大橋店	大森南店	龜戸店	西蒲田店	マチノマ大森店	池袋三丁目店
八尾店	本庄店	毛馬店	東大阪長田店	西淡路店	★ビオラル	新大塚店	幡ヶ谷店	中野坂上店	ムスブ田町店	ビオラル国立駅前店
和泉大宮店	御殿山店	三国橋店	昭和町駅前店	住吉山之内店	うめきた店	経堂店	大泉学園駅前店	若松河田駅前店	桜新町店	日黒八雲店
高井田店	正雀店	西九条店	緑橋店	空堀店	玉出東店	赤塚店	六町駅前店	新桜台駅前店	本一色店	吉祥寺駅前店
泉尾店	新北島店	大国町店	御幣島店	Miniel西本町店	安田諸口店				コモレ四谷店	★ビオラル
百舌鳥店	歌島店	天神橋店	セントラルスクエア	西宮原店	箕面桜ヶ丘店					新宿京王百貨店
箕面店	関目店	太平寺店	京橋店							

兵庫県 | 21店舗

甲子園店	本山店	★ビオラル	さんちか店
武庫川店	春日野道店		
福崎店	下山手店		
御影店	須磨鷺取店		
尼崎大西店	西宮北口店		
浜甲子園店	夙川店		
西代店	阪神鳴尾店		
神戸駅前店	宝塚中山寺店		
長田店	阪神芦屋店		
今津駅前店	芦屋吳川町店		

(注)★印の店舗は、2025年度新規出店であります。

170店舗

(2025年8月31日現在)

首都圏

146店舗

(2025年8月31日現在)

東京都 | 100店舗

埼玉県 | 8店舗

奈良県 | 3店舗

千葉県 | 5店舗

神奈川県 | 33店舗

合計
316店舗

会社概要 (2025年8月31日現在)

商 号 株式会社ライフコーポレーション
LIFE CORPORATION

創 壽 1910年

設 立 1956年10月24日

資 本 金 10,004,000,000円

従 業 員 の 状 況 人数:7,591名

平均年齢:40.9歳

平均勤続年数:15.5年

本 店 及 び 本 社 本 店 〒532-0004
大阪市淀川区西宮原二丁目2番22号
電話(06)6150-6111(代)
東京本社 〒140-0002
東京都品川区東品川四丁目12番3号
電話(03)6717-2500(代)グ ル プ 会 社 株式会社ライフフィナンシャルサービス
(クレジットカード、電子マネー事業)

役 員 一 覧

※取締役社長執行役員	岩崎高治
取締役専務執行役員	森下留寿
取締役専務執行役員	角野喬喬
取締役常務執行役員	岡田晴信
社外取締役	河野宏子
社外取締役	片山隆子
社外取締役	多田明弘
社外取締役(監査等委員)	水戸重之
取締役(常勤監査等委員)	末吉恒一
社外取締役(監査等委員)	成田直子
社外取締役(監査等委員)	宮竹直枝
社外取締役(監査等委員)	篠木良枝

(注)※は、代表取締役であります。

株式情報

○株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	90,501,600株
株主数	15,969名

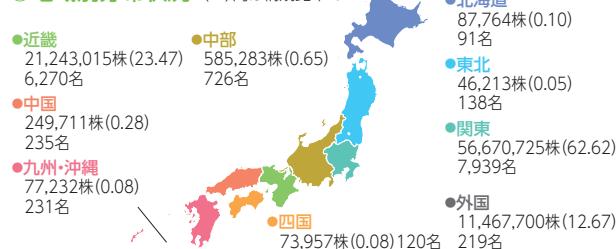
○大株主

株主名	持株数(株)
三菱商事株式会社	21,125,000
清信興産株式会社	10,764,000
公益財団法人ライフスポーツ財団	6,458,400
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,055,500
ライフ共栄会	4,705,924
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,137,800
住友生命保険相互会社	1,474,000
清水 久子	1,402,800
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	1,107,028

○所有者別分布状況

所有者	株主数(名)	株式数(株)	構成比率(%)
金融機関	22	12,418,700	13.72
証券会社	27	1,833,747	2.03
その他の国内法人	374	48,179,130	53.24
外国人等	301	12,337,826	13.63
個人・その他	15,244	11,909,379	13.16
自己株式	1	3,822,818	4.22
合計	15,969	90,501,600	100.00

○地域別分布状況 ()内は構成比率%



単元未満株式の買取請求のご案内

単元未満株式の買取請求とは、1単元(100株)未満の当社株式を、株主様が当社に対して時価で売却することができる制度です。1単元(100株)未満の株式は証券取引市場で売買していただくことができません。

単元未満株式の買取りに関するお手続き

- 証券会社に口座を開設している株主様
口座を開設していただいているお取引先の証券会社にお問い合わせください。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様
証券会社の口座に記録をしていない単元未満株式は、当社が三井住友信託銀行株式会社に開設をした特別口座に記録されておりませんので、上記「株主メモ」欄の電話照会先にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定期株主総会	5月
基準日	定期株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告し 中間配当金 8月31日 て定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所
(郵便物送付先)
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)
TEL 0120-782-031
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

(インターネット
ホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告方法
電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告いたします。

【公告掲載URL】<http://www.lifecorp.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

単元株式数 100株

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についての住所変更等のお届出及びご照会は、上記の電話照会先にお願いいたします。

ホームページのご案内

当社ホームページでは財務情報のほかにも、お店のチラシやネットショップ、ネットスーパーなどのお買い得商品のご紹介、お料理レシピや社会・環境活動報告書をご覧いただけます。ぜひご利用ください。



<http://www.lifecorp.jp/>